

# 議会だより



松戸市立博物館（地図は8面に掲載）



縄文時代の竪穴住居の復元（博物館野外展示）

## 9月定例会に提案された議案の概要です

認定第1号 平成18年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について

平成18年度の歳入決算額は114.1億677万5205円、歳出決算額は108.6億832万9152円で実質収支額は5.5億417万8640円

認定第2号 平成18年度松戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第3号 平成18年度松戸市松戸競輪特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第4号 平成18年度松戸市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第5号 平成18年度松戸市老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第6号 平成18年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第7号 平成18年度松戸市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第8号 平成18年度松戸市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第9号 平成18年度松戸市水道事業決算の認定について

認定第10号 平成18年度松戸市病院事業決算の認定について

議案第14号 平成19年度松戸市一般会計補正予算(第二回)

議案第15号 平成19年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第一回)

議案第16号 政治倫理の確立のための松戸市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第17号 松戸市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定について

議案第18号 松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第19号 松戸市手数料関係(戸籍事務の電算化に伴い、磁気ディスクにより調整された戸籍等の証明書交付手数料を定める。)

議案第20号 松戸市重慶心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第21号 松戸市道路白線料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第22号 契約の締結について(松戸市立小金中学校第1校舍改築工事)

議案第23号 契約の締結について(春木川排水整備工事)

議案第24号 公平委員会委員の選任について

議案第25号 教育委員会委員の任命について

議案第26号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

議案第27号 松戸市手数料関係(戸籍事務の電算化に伴い、磁気ディスクにより調整された戸籍等の証明書交付手数料を定める。)

議案第28号 松戸市重慶心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第29号 松戸市道路白線料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第30号 契約の締結について(松戸市立小金中学校第1校舍改築工事)

議案第31号 契約の締結について(春木川排水整備工事)

議案第32号 公平委員会委員の選任について

議案第33号 教育委員会委員の任命について

議案第34号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

議案第35号 松戸市手数料関係(戸籍事務の電算化に伴い、磁気ディスクにより調整された戸籍等の証明書交付手数料を定める。)

議案第36号 松戸市重慶心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第37号 松戸市道路白線料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第38号 契約の締結について(松戸市立小金中学校第1校舍改築工事)

議案第39号 契約の締結について(春木川排水整備工事)

議案第40号 公平委員会委員の選任について

議案第41号 教育委員会委員の任命について

議案第42号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

議案第43号 松戸市手数料関係(戸籍事務の電算化に伴い、磁気ディスクにより調整された戸籍等の証明書交付手数料を定める。)

議案第44号 松戸市重慶心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第45号 松戸市道路白線料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第46号 契約の締結について(松戸市立小金中学校第1校舍改築工事)

議案第47号 契約の締結について(春木川排水整備工事)

議案第48号 公平委員会委員の選任について

議案第49号 教育委員会委員の任命について

議案第50号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

議案第51号 松戸市手数料関係(戸籍事務の電算化に伴い、磁気ディスクにより調整された戸籍等の証明書交付手数料を定める。)

議案第52号 松戸市重慶心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第53号 松戸市道路白線料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第54号 契約の締結について(松戸市立小金中学校第1校舍改築工事)

議案第55号 契約の締結について(春木川排水整備工事)

議案第56号 公平委員会委員の選任について

議案第57号 教育委員会委員の任命について

議案第58号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

議案第59号 松戸市手数料関係(戸籍事務の電算化に伴い、磁気ディスクにより調整された戸籍等の証明書交付手数料を定める。)

議案第60号 松戸市重慶心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第61号 松戸市道路白線料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第62号 契約の締結について(松戸市立小金中学校第1校舍改築工事)

議案第63号 契約の締結について(春木川排水整備工事)

議案第64号 公平委員会委員の選任について

議案第65号 教育委員会委員の任命について

議案第66号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

議案第67号 松戸市手数料関係(戸籍事務の電算化に伴い、磁気ディスクにより調整された戸籍等の証明書交付手数料を定める。)

議案第68号 松戸市重慶心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第69号 松戸市道路白線料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第70号 契約の締結について(松戸市立小金中学校第1校舍改築工事)

議案第71号 契約の締結について(春木川排水整備工事)

議案第72号 公平委員会委員の選任について

議案第73号 教育委員会委員の任命について

議案第74号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

## 9月定例会

平成19年9月定例会が、9月5日から28日までの会期で開催されました。  
今定例会は、市長より提出された議案、市民から提出された陳情が、各常任委員会や決算審査特別委員会で審査されました。  
最終日には、これらの案件のほか、追加議案や議員提出議案が提出され、採決されました(8面に審議結果を掲載)。  
なお、市政に関する一般質問は、議員30人が行いました。

### 9月定例会の日程

5日	本会議 議案の上程 提案理由の説明
6・7・10・11・12日	本会議 市政に関する一般質問
13日	常任委員会 総務財務常任委員会
14日	常任委員会 健康福祉常任委員会
18日	常任委員会 教育経済常任委員会
19日	常任委員会 都市整備常任委員会
20・21・25・26日	特別委員会 決算審査特別委員会
28日	本会議 議案、陳情の採決 追加議案の上程、採決 議員提出議案の上程、採決

### 主な内容

- P2~4... 市政に関する一般質問
- P5..... 決算審査特別委員会の審査内容
- P6..... 決算討論
- P7..... 各常任委員会の審査内容  
意見書、人事案件
- P8..... 審議結果、お知らせ  
編集の窓 ほか



# 一般質問

9月定例会では、30人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

## 質問をした議員（通告順）

- 森下 彰司・中田 京・山中 啓之・織原 正幸
- 高橋 義雄・矢部 愛子・城所 正美・飯著 公明
- 磯崎 吉弘・大井 知敏・渡辺美喜子・石川 龍之
- 高橋 妙子・諸角 由美・佐藤 恵子・張替 勝雄
- 木村みね子・本郷谷健次 松井 貞術・杉浦 誠一
- 工藤 鈴子・二階堂 剛 桜井 秀三・高木 健
- 宇津野史行・中村多賀子・深山 能一・長谷川 満
- 伊藤孝一郎・谷口 薫

### 成年後見制度による権利擁護は

**問** 身寄りがなく判断能力が不十分なため、本人が成年後見制度を申し立てられ、契約行為が行えないことから、障害福祉や介護などのサービスを受けない方への権利擁護の状況は、

**答** 在宅介護支援センターや地域包括支援センターに寄せられた成年後見制度利用相談の中で、申立てを要する機会がない場合などは、親族や資産の状況を調査し、本制度の利用が必要と判断されれば、市長申立てを行っている。また、高齢者を対象とした振り込め詐欺や悪質な訪問販売などへの対抗手段としても成年後見制度は有効であるが、この制度を理解する難しさや、手続きの煩雑さは承知しており、平成18年度に創設した市内3か所の地域包括支援センターを拠点として、相談業務や市民への支援とともに成年後見制度の普及に努めている。

### 市営住宅のコミュニケーション機能は

**問** 23か所ある市営住宅で、市政協力を委員を抽出し、地域の中で独自に自治組織を構成しているのは1か所だけである。市では、様々な制度やボランティア組織作りを進めるが、コミュニケーションとしての市営住宅やコミュニティの員としての市営住宅のあり方を考えているか、

**答** 町会、自治会は、一定の地域内に住む人々が、地域の諸問題の解決や地域住民の福祉の向上を目的に、自らの意思によって組織された任意の団体である。市営住宅の多くは地域の町会・自治会に包括され、一体として市営住宅の住民に対する行政サービスを行っていることを認識している。

今後、市営住宅のコミュニケーション機能を、充実させるため、町会・自治会と連携して、地域の員としての市営住宅となるよう努めていきたい。

### 図書館のあり方は

**問** 図書館に寄せる市民の期待が高まっており、市民の満足度向上や、若い人も着する文化的で住みよいまちづくりを考える上で図書館は、重要度の高いものの一つであるが、図書館のあり方について後9時までの夜間開館について考えは、

**答** 図書館は、生きがいを持ち、充実した生活を送るための生涯学習の場として、市民の学習機会を求めに、対し情報を提供し、支援していく場である。また子どもたちの読書離れが叫ばれるなか、読書に豊かにし、より深く生きる力を身につけるために、児童への読書普及活動を行うことは、図書館の重要な役割であると考えている。

開館時間の延長については、本館で週4回の夜間開館を平成18年度から週4回に拡大し、午後7時まで実施している。また本年から

### 期日前投票所の改善策は

**問** 現在、衆議院選挙や参議院選挙などの国政選挙では、必ず比例代表選挙と選挙区選挙が並立して行われ、2回投票する事になっているが、期日前投票所では投票用紙を2枚同時に配布しており非常に分かりにくい。投票用紙を別々に配布し、順番を追って投票が出来るように改善できないか、

**答** 期日前投票については、現在本庁及び支所など9か所で開催している。2つ以上の選挙がある場合は投票所がせまいため、不公平にならないよう統一して投票用紙と一緒に配布するとともに、記入方法を説明するとともに、記載台にそれぞれ投票用紙の色に合わせた記入方法の説明を表示し対処しているところである。

選挙人の利便性は、選挙執行の大変重要な部分と認識しており、今後、投票所施設、選挙区が異なる第6区・第7区に分割されていることへの対応等、抜本的な見直しも含めて検討していく。

### 馬橋駅前の整備状況は

**問** 馬橋駅ビルの完成見通しは、また、馬橋駅の再整備案として、自由通路に屋根を付け、エレベーターやエスカレーターを設置したパブリックフリーの橋と新駅舎の中に噴水、さらに駐車場の整備を提案するが、この案をどう考えるか、

**答** 都市整備公社用地のビル化については、都市整備公社との協議の結果、平成20下半期には橋梁や護岸工事、ビル建設工事を計画している。21年度末を完成の目標としているが、様々な制約条件もあり、全体工期の遅れも予想さ

### 松戸産農産物の現状は

**問** 農業の担い手の高齢化や後継者不足で耕作放棄地が増加するなど、都市農業の先細りが進む一方で、体験農園への参加が増えるなど、市民の農業への関心が着実に高まりつつある。このようななか、今後の環境保全型農業の展開について伺う、

**答** 市では、松戸産農産物ブランド化推進のシンボルマーク「みりやん」を定めて新鮮な松戸産農産物の販路拡大や安定供給を図り、農業経営の安定化を目指すとともに地産地消を推進している。生産者の顔が見える直売所やスーパーなどの一角に旬の販売コーナーの設置を要請するなど、松戸産農産物のPR活動も併せて積極的に行っていく。また、有機農業の推進を図るために、使用農薬の削減や有機肥料の利用に対する支援を行っている。農業支援者の育成については、人手の欲しい農業者と農業へ従事



### 上富士川上流改修工事の進捗よく状況は

**問** 根本内東小学校付近では、集中豪雨により道路冠水が発生するが、災害防止のため上富士川上流改修工事の進捗よく状況を伺う、

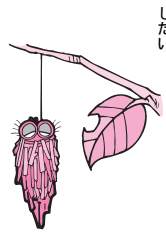
**答** 上富士川改修工事は、根本内子田地区の浸水被害の解消を図るため、昭和63年度から事業に着手、409メートル区間に於いて整備を終えた。平成17年度から根本内城址橋を起点とし根本内橋上流部まで400メートル区間を整備計画に位置付け、柏市、流山市の協力を得ながら事業に着手した。18年度末の進捗よく状況は、用地買収面積5筆354平方メートルで全体の用地買収率は21.6%になっている。また、河道整備延長30メートルで河道整備延長比率は75.5%となっている。19年度は、用地買収面積3筆213平方メートル、河道整備延長28メートルが実施予定であり、19年度末の進捗よく率として、用地買収面積比率は34.6%、河道整備延長比率は14.5%を予定している。20年度以降については本流域の浸水解消に向け、着実に整備を推進していく。

### 新松戸葬儀場の建設について

**問** 市長は、このたびの民間事業者による新松戸葬儀場の建設にあたり、住民からの要望や建設者に対する行政指導のあり方など、一連の経過を踏まえ、今後このような紛争を防ぐための方策として、どのようなことを考えているか、

**答** 近年、住環境の保護や秩序あるまちづくりなど、住民意識の高揚がみられる。また、このたびの葬儀場建設問題をはじめ準工業地域内でのパチンコ店やマンション建設など、紛争の内容が多岐にわたり複雑化しており、現在の指導調整では解決に至らない場合が多くなっている。

このため近隣住民が事業計画を事前に知ることができ、事業に関する必要と話し合いの期間を確保できる事前公開制度の充実とともに、紛争を未然に防ぎ、迅速で確かな対応をするためのあせせんや調停制度を定めた条例の制定を計画している。本条例案については、議会と十分に協議し、平成19年12月定例会に上程すべく準備を担当部署に指示しているところである。





### 財政健全化

#### 4指標とは

**問** 財政健全化の判断材料となる比率を示す4指標が公表されることにより、新たに明らかとなるものは何か。

**答** 指標の一つ目、実質赤字比率は、現行とはほぼ同様の一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率である。二つ目の「連結実質赤字比率」は、新しい指標として、実質赤字比率の対象範囲を普通会計に加え、公営企業・公営事業の全会計に拡大、連結されておられ、市全体としての収支を明らかにするものである。三つ目の「実質公債費比率」は、平成18年度から起債制度が協議制に移行し、既に用いられており、一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率であり、全会計及び一部事務組合が含まれるものである。四つ目の「将来負担比率」は、一般会計等が将来負担すべき実質的負債の標準財政規模に対する比率であり、全会計と一部事務組合、公社及び第3セクター等まで含まれるものである。

### 男女共同参画社会の推進に関する取組は

**問** 女性の出産後の職場復帰や男性の育児休業等の問題があるなかで、市はワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の定着のためにどのような取組が必要と考えるか。

**答** 定着させるための取組は、事業者の考え方や組織風土などにより差が出てくるものと思われる。管理者の意識改革は夏より、時間管理、「人材活用」組織のあり方など、マネージメント能力が問われるものであると同時に、個人としても、仕事以外の時間を

捻出するための自己マネージメント能力が必要であると考えている。ワーク・ライフ・バランスの推進に向けては、まず市役所自らが模範となるよう職員意識の高めるところに、市民及び事業者の高めるところに、市民及び事業者の高めるところに、理解されるよう努めていきたい。

### 健康健全都市宣言を謳えないか

**問** 平成20年は松戸市制65周年であるが、この年を記念して市民の健康と長寿を願い、「健康健全都市宣言」を行ってはどうか。

**答** 65周年記念事業の実施については、現時点では決定していない。また、「健康健全都市宣言」となる範囲が広くなるため、健康都市宣言としてと答弁する。

市民の健康づくりについては平成14年8月に策定された「健康松戸21」計画において推進してきたが、策定から5年が経過し、中間報告の時期もなっている。今後も市民や関係団体の健康づくりを目指していくため19年度に中間評価のための市民アンケート調査を実施する。

この調査では、市民の健康に対する意識の変化や生活の実態等を把握し、目標値に対する評価と今後の事業展開の見直しを行う予定である。調査項目として、「健康都市宣言」に関するものを追加し、市民の意見集約を図り、環境が整ったと判断した際には議会にはかりたいと考えている。

### 生活保護受給者の状況は

**問** 生活保護受給者状況と生活困窮に至るまでの特徴的な原因とは、また、本庁まで来られない方は、どのように対応しているか。

**答** 平成18年中における生活保

護の相談件数は1952件であり18年度の受給者数は3713世帯である。年齢層は40歳未満が11.7%、40歳から59歳までが30.7%、60歳以上が57.6%である。受給に至る原因としては、これまで世帯主の病気や障害、高齢に伴う収入の喪失等が主な原因であったが、近年はそれらに加え、家庭内暴力、虐待、多重債務、ホームレスなど複雑な問題を抱える相談が増えている。

### 視覚障害者への情報バリアフリー化

**問** 視覚障害者にとって、活字文書読み上げ装置は利用価値が高いため、購入に際し助成できないか。また、この装置を市内の公共施設に設置することはできないか。

**答** この装置は「日常生活用具の給付事業」の一品目として、日常生活の利便性向上を目的に給付しており、利用者負担は基準額の1割が自己負担となり、残りは公費負担となっている。

公共施設への設置については、平成18年12月に国から、障害者自立支援対策臨時特別給付金による特別対策事業が、目録外「視覚障害者等情報支援緊急整備事業」がメニューとしてあげられたため19年度に県に対して点字プリンタをはじめ3品目を申請した。申請

認定が決定した場合は、障害福祉課やふれあい22などに設置していきたいと考えている。なお、この基礎整備事業は20年度までの事業であるため、来年度も申請品目を熟慮し、設置に向けて申請したい。

### 多重債務者への対応は

**問** 多重債務者の増加は、社会的に大きな問題となっており、国は「多重債務問題啓発プログラム」を策定し、自治体に相談体制の充実を求めている。本市の相談状況と今後の取組について問う。

**答** 多重債務の相談については、市民相談課と消費生活センターで対応している。相談内容により債務整理の方法についてアドバイスし、必要に応じて弁護士会が無料で行っているクレジット・サラ金相談司法書士会及び裁判所を紹介して、多重債務者の救済に努めている。

今後の取組としては、近々に弁護士を講師として、多重債務問題研修会を、消費生活相談員や関係職員を対象に実施したいと考えている。また、多重債務者は様々な形で問題を抱えていることが多いため、複数の部署の職員が相互的に問題を解決する機能を発揮するためにも、庁内関係部署による連絡会等を設け、連携して問題の早期発見と解決の道筋を作れるよう努力したい。

### 成田新高速鉄道一般特急の東松戸駅停車は

**問** 平成22年度に成田新高速鉄道が開業するが、一般特急の東松戸駅停車に関わる最近の取組は、

**答** 現在までの取組は、千葉県とともに埼玉県内の武蔵野線沿線8市と隣接している2市に対し、一般特急の東松戸駅停車に向けた支援をお願いした。武蔵野線沿線より成田空港へ直接アクセスでき

る政策的効果は非常に大きいことから、支援の快諾を大きく期待することができた。また、県内においても、武蔵野線沿線の市川市、流山市に加え、北総線沿線の鎌ヶ谷市に支援の約束を取り付けたことである。今後は千葉県知事を筆頭に、各首長にも調印をいただき年内には運行主体である京成電鉄に対し、直接要請したいと考えている。成田新高速鉄道の開業が迫っており、あらゆる場面をこらえ、北総新高速鉄道一般特急も含め成田新高速鉄道株式会社に東松戸駅停車を実現し、早く取り組んでいく

### 市内にある大学との連携は

**問** 市内にある4大学との連携によるまちづくりに関して本市の基本的な考えを問う。

**答** 市内大学と産業界の連携を強化するため、平成17年度に、大学と産業界との情報交換や、出席者からの提案を基に連携事業の実施検討を行っている。検討の結果、提案のあった事業では、地域との交流を推進するものが多いことが本市の特徴である。今後はそれらを積極的に活用し、行政課題や地域課題の解決に生かしていきたい。また、提案により実現化した連携事業は、聖徳大学が学生「聖徳3姉妹」による松戸駅東口のゴミ箱改修、松戸市立ハイガイによる戸定が丘運動公園が千葉大園芸学部内の西洋園遊を散策するツアー、商工会議所の呼びかけによる市内4大学の松戸まつりへの参加協力、千葉大園芸学部学生による市内梨園へのインターシンプなどである。

### 生活保護の適正実施を

**問** 生活保護制度の扶助費支給対象となっている人や世帯の実態把握について問う。

**答** 生活保護の申請があった場合には、まずその世帯の生活実態調査を行い、さらにその親族である扶養義務者への扶養調査、そして銀行や生命保険会社などの金融機関等へ照会を行い資産の有無を調査し、保護の要件を確認した上で保護の必要と程度を決定する。保護開始後3か月間は、毎月家庭訪問を行い、生活保護に至った要件の再確認を行いながら必要な指導援助を実施している。それ以降については、保護受給者の状況に合わせた訪問基準により定期的に家庭訪問を行うとともに、必要に応じ民生委員や医療機関などに関

係機関の協力を得ながら病状調査、市民税台帳調査や扶養能力調査、世帯の実態把握を行い、保護の適正実施に努めている。

### 市内にある大学との連携は

**問** 市内にある4大学との連携によるまちづくりに関して本市の基本的な考えを問う。

**答** 市内大学と産業界の連携を強化するため、平成17年度に、大学と産業界との情報交換や、出席者からの提案を基に連携事業の実施検討を行っている。検討の結果、提案のあった事業では、地域との交流を推進するものが多いことが本市の特徴である。今後はそれらを積極的に活用し、行政課題や地域課題の解決に生かしていきたい。また、提案により実現化した連携事業は、聖徳大学が学生「聖徳3姉妹」による松戸駅東口のゴミ箱改修、松戸市立ハイガイによる戸定が丘運動公園が千葉大園芸学部内の西洋園遊を散策するツアー、商工会議所の呼びかけによる市内4大学の松戸まつりへの参加協力、千葉大園芸学部学生による市内梨園へのインターシンプなどである。

### 松戸市に「道の駅」を

**問** 松戸市の観光の一つとして東京外郭環状道路の矢切出入口付

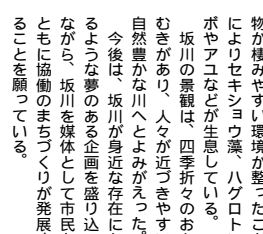
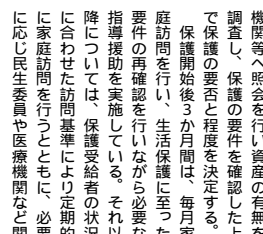
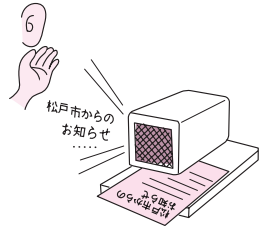
近にトイレ、有料のシャワールーム等も視野に入れた「道の駅」や「ハイウェイオアシス」を設置する考えは、

**答** 外環道路千葉区間は平成27年度を目前に国土交通省、東日本高速道路株式会社により国道298号と自動車専用道路の整備が進められ、市川方面に入りやすくなるため、市川フェニックスが設置される予定である。「道の駅」や「ハイウェイオアシス」を設置する場合、店舗以外にも駐車場、休憩所やトイレ等も設ける必要がある。そのため比較的大い土地を要し、適当な場所の選定やその場所への経路なども難しい課題がある。今後は、経済担当部とともに外環道路事業に相談しながら勉強していきたい。

### 坂川を松戸の名所に

**問** 市民の提案で市民の手による「松戸宿坂川灯籠まつり」が伊勢丹前広場特設ステージと松茸寺境内ステージを核として盛大に開催された。この坂川は松戸の名所にも思われるが、今後の利用方法について問う。

**答** 「松戸宿坂川灯籠まつり」は、住民自らが坂川を舞台上周辺自治会に呼びかけ、平成18年度より実施し、19年度は2万5千人の人数で賑わった。市民活動、清流ルネッサンスの取組、広報活動などにより水質が改善され、環境学習やカヌー教室が行われている。生物が棲みやすい環境が整ったことによりセキショウウオ、ハグロトンボやアユなどが生息している。坂川の景観は、四季折々のおもむきがあり、人々が近づきやすい自然豊かな川へよびかえった。今後は、坂川が身近な存在になるような夢のある企画を盛り込みながら、坂川を媒体として市民とともに協働のまちづくりが進展することを願っている。





### 災害時要援護者への対応は

**問** 国により災害時要援護者の避難支援ガイドラインが示されたが、本市はその具体化に向けてどのように検討しているか。

**答** 高齢者や障害者等の災害時要援護者への対応は、地域ぐるみの共助体制を基本としてあり、町会や自主防災組織に要援護者の把握に努めていただくようお願いしている。平成12年1月には、松戸市個人情報保護審議会の承認を市個人情報保護審議会の承認を受け、身障者手帳をお持ちの方、独居老人、寝たきり老いのデータを消防指令管制システムに登録し、災害発生時に迅速に対応している。ガイドラインでは、災害時の避難に支援が必要な人を特定し、誰が支援してどこへ避難させるかを定める。避難支援プランの策定や避難所での支援の仕組みを構築することとしている。このガイドラインが示す課題等を整理するため防災課と福祉関係部が連携を図り協議・検討した。今後は、地域で活動を支えている関係団体や障害者等の支援を受ける関係団体も含め協議・検討し、災害時要援護者の支援体制の整備に努めたい。

### 市立病院の経営状況は

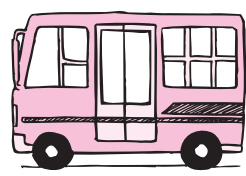
**問** 市立病院の赤字経営状況は医師不足が原因と否か。またその改善のための取組を伺う。

**答** 平成16年度から臨床研修医制度が始まり、全国的に医師が偏り不足している。市立病院の常勤医師総数に大きな変動はないが、個別の診療科では医師の変更や人数が増減があり、17年度後半から欠員のある診療科の医師補充が難しくなった。欠員科は、入院・外来患者数の減、外科系は手術件数の減が明らかで、患者サービスはもとより、経営にも大きな影響を与えている。この状況の中、千葉大学医局をはじめ、交流のある各大学医師への医師派遣の要請や民間の医師登録機の活用、医師待遇改善等、医師確保対策を積極的に行っている。市立病院の経営状況は、18年度が赤字経営で、19年度はさらに厳しいが、この危機的な状況で改善すべく、19年4月に経営改革担当を設置し、さらに5月から重要部門の代表を選抜した改革コアチームを立ち上げ、病院をあげて経営改革に取り組んでいる。

### 市役所の昼休み時間の見直しを

**問** 平成19年4月より市役所の昼休み時間が12時15分から13時となり、職員が外出して飲食する機会が減ったことで、売上げ減少に悩む近隣商店の声をどう考えるか。また、元の時間帯に戻せないか。

**答** 18年7月に人事院規則が改正され、有給であった休憩時間を廃止するた19年3月定例会において条例改正を行い、4月より昼休み時間が15分縮減された。休憩時間のあり方については、休憩時間の廃止と職員の勤務条件



### コミュニティバスの導入は

**問** 本市においてバス路線の整備や廃止等で路線復活を求める声があるが、コミュニティバスの活用やミニバス導入の検討は進んでいるか。

**答** 本市においては既存の鉄道や路線バスが充実しており、近隣市がミニバスや乗合タクシーを導入して補っている交通サービスを比較して、それを上回る利便性が供給されて、これを評価している。そのため、ミニバスを導入するまでには至らず、現在のバス路線の維持に重点を置く方針に変わりはなし。

小型バス車両の活用は、従来の大型車両より多様な運行経路の選択を可能とするなど、路線バス、コミュニティバスを問わず、効果的に活用したい。

### 東部市民センターへのエレベータ設置は

**問** 製香台保育所の耐震化は急務と思うが、工事期間中は耐震保育園で対応して、また、耐震化と並行して、併設の東部市民センターへのエレベータ設置の考えは、

**答** 保育所の耐震化は製香台保育所にかかわらず必要と考え、耐震化工事を行う場合、保育所の一時的な休園や移転など多くの問題がかかっている。耐震化工事期間中の保育を新設保育園で対応してはどうかという提案であるが、東部地域に計画している新設保育園は、急激な人口増に伴う保育需要の増加に対応するためであり、保育所に在園児の受け入れと考える。また、エレベータ設置については、建物の階数、施設の形態や立地条件、バリアフリー化等の改修工事の度合い、市民センターの利用状況、利用者数、地域の方や利用者の意見等を総合的に勘案し、検討したい。

地域の動きは、平成19年5月に東部地区連合町会からエレベータ設置に関する要望書が市長宛に提出されたほか、同月に東部市民センターにエレベータを設置する会との懇談会を開催した。

### 配食サービスの今後の課題は

**問** 配食サービス利用者の過去3年間の推移と利用者の声や改善点、また、今後の課題は

**答** この事業は平成12年度より事業を始め、実利用者数は月平均で16年度650人、17年度840人、18年度995人である。

### 改善点の一点目は、市内4地区に分けて配食事業者を決めており、全地区で配食事業者を選べる体制と配食事業者を替えることができる制度を17年度から導入し、事業者数も当初3社から現在は10社と増えている。二点目としては病理食の提供で19年度より糖尿病食、透析食を扱う事業者も参入し、全地区に提供できるようになった。三点目は16年度より、食中毒予防を目的として事業者点検票の提出を実施し、施設・従事者の食中毒2回の事業者研修会・現地調査を実施している。18年度からは県の補助金がなく財政的な課題も生じており、それらも含め第1期高齢者保健福祉計画で検討したい。

### 少年少女発明クラブの建設計画は

**問** 清水総合開発と東武鉄道が寄贈された新松戸3丁目の市有地に、市内の篤志家がクラブ等建設し、市に寄贈することだが、その経過と施設の管理考え方は、

**答** この土地は地域貢献の趣旨をもって平成15年に贈与された。松戸少年少女発明クラブは、全国規模の大会において最優秀、優秀賞を得るなど功績をあげているにもかかわらず専用場所がない活動場所の候補地を探っており、当該地の状況を伝えたところ、建物建てて寄贈したのと、合わせて新松戸町会連合会等の合同事務所を建てては提案をしたところ賛同を得た。市が建てることがあるの、親子DE場など公共的なのも探り入れの旨を篤志家に伝えたところ、全く建設し市に寄贈したいと全くこじなつた。施設の維持管理・運営方法は、市内関係と協議しており、施設の詳細が固まった段階で関係団体との協議を進めた。

### 耐震化の促進状況は

**問** 日本木造住宅耐震補強事業者共同組合が行った都県を対象とした耐震診断、改修に関わる所成制度のアンケートにおいて、

一つ設置しているが、その巡回回も同様の傾向がある。市民からは、汚い、怖いからどこか行って欲しいという声がある。本市では18年度より開始された地域保健福祉計画のなかでも主要支援の対象として位置づけられている。他市では受け皿が民間組織としてできており、今後民間組織の育成も大事な視点と考えている。

### 有者と建築事業者にとって制度が使いにくく、また、住んでいる自治体を利用できる制度がないとの結果が出たが、こうした指摘をどう受け止めるか。

**答** 現在、本市では、耐震改修促進計画の策定を行っている。その内容は、耐震診断及び耐震改修の実施に関する目標、耐震診断及び耐震改修の促進を図るための施策に関する事項、啓発及び知識の普及に関する事項、所管行政との連携に関する事項その他耐震改修に必要な事項となっており、年内にパブリックコメントを実施し、20年3月策定の予定である。現在実施している耐震診断の助成制度も有効な手段と認識しており、情報提供及び耐震化の支援等の施策について検討し、計画の中に生かして耐震化の促進を図りたい。

### 病院の建替えについて

**問** 市立病院の建替えについて平成17年度より本市の最重要課題として取り組んでいるが、今日までの経過と今後の市の考え方を伺う。

**答** 平成18年8月に開催された市立病院建設検討特別委員会に新病院の整備基本構想の案を提示したところである。このうち病院の機能と病床規模について更なる検証をするため、新病院整備基本構画策定業務委託し、現地建設調査整備計画の現地検証に関する調査研究業務委託をそれぞれ専門の調査機関に18年11月に委託し、19年3月にその調査報告を受けた。この結果を踏まえ、現在、基本計画策定委員会において市立病院建設検討特別委員会と協議している。

新病院の建設事業は本市にとって最重要課題の一つと認識しており、今後とも事業の推進に向けて努力をしていきたい。



# 決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、平成18年度の歳入歳出予算が、適正かつ有効に執行されたかについて詳細な説明を求めながら、厳正に審査しました。その審査の概要を報告します。

なお、下記12人の議員が審査にあたりました。

## 決算審査特別委員会委員

委員長	田居照康
副委員長	石川龍之
委員	森下彰司
委員	杉山由祥
委員	渋谷剛士
委員	市川恵一
委員	高橋妙子
委員	諸角由美
委員	佐藤恵子
委員	末松裕人
委員	富澤凡一
委員	二階堂剛

## 一般会計

### 総務費

**徴収業務体制と差押え基準は**

**徴収業務体制及び差押え基準について伺う。**

答 現在の徴収体制は、毎年業務運営方針を策定して基本戦略並びに具体的戦略を明示する事により、収納課職員全員が業務を共通認識により初動整理、滞納整理、履行監視・高額滞納整理、収納管理の各班と併せて、特別整理担当室などの機能強化と連携を図り効率的な運営体制を構築している。

次に、差押え基準について、納付能力があるにもかかわらず、納税の誠意が認められない滞納者との判断した場合に限り、滞納処分を執行している。差押えの員極め

## 民生費

**高齢者が、地域で元気に暮らす指針は**

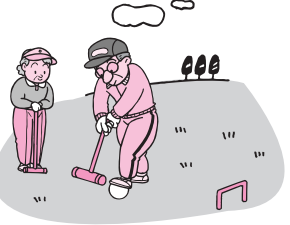
**高齢者施策について、介護・福祉などの施策にらへ、元気に地域で活動するための施策が少な**

**いように思うが、今後地域に暮らす高齢者が増加するなかで、地域**

**の状況をよく調べ、どのような地域活動が求められているかなど、**

**地域で元気に暮らせる指針づくりを進めてはどうか。**

遅れは延滞金の加増を生み、納税者の不利益に結びつくため、納税相談により個別滞納者の収支状況などの個別状況を把握し、法律上の猶予措置にある自主納付への道筋を踏むための面談を実施している。なお、自ら納税相談に来ないまたは完納への納付計画を明らかにしない納税者は差押えは不可避なものである。



代が地域に帰ってくることを想定して、シニア交流センターを立ち上げた。今後、高齢者の就労とにも地域の中できかに地域活動に参加するかが重要になってくる。そこで、シニア交流センターやサポートセンターを拠点として、地域にある老人クラブ、地区の社会福祉協議会と連携を取りながら政策を進めていく考えである。このことは、松戸市地域福祉計画にも謳っており、この計画を核として進めていきたい。

## 衛生費

**ヘルスポラントピア育成支援について**

**ヘルスポラントピア育成支援**

**援業務があるが、その活動と実績**

**また、その効果は**

**答 健康推進員として3年間活**

**躍され、任期が終了した方々を中**

**心に、健康づくりにかわる人材**

**を育成し、育児支援や高齢者支援**

**に携わるボランティアグループの**

**結成を進めている。この事業は、**

**これら結成されたグループの活動**

**をサポートし、活動が継続するよ**

**うにすることである。平成18年度**

**の事業は、乳幼児の事故防止に関**

**する講演会を開催した。そして市**

**内で活躍する32の育児支援グル**

**プ等から97人の参加があるなど、**

**活発な事業を展開している。事業**

## 農林水産業費

**環境にやさしい**

**農業への取組は**

**農業に対する行政の考え方は**

**も進化しているものと思われるが**

**土づくり推進事業及び環境保全型**

**農業推進事業として、どのような**

**取組を進めているか。**

答 土づくり推進事業として有機質利用推進事業がある。堆肥の導入により土壌の通気性や保水性を改善し、生産量上げるものであり、堆肥の購入費について補助をしている。また、土壌を耕進・消費する土壌改良機の購入について補助している。

## 消防費

**更なるAEDの普及と周知を**

**AEDの購入実績、設置場所とその周知方法について伺う。**

**また、多くの機種があると聞くと、**

**購入する基準はあるか。**

答 平成18年度の購入実績は1台である。

17年4月から救急救命ネットワーク事業を開始し、AEDの設置場所を救急救命センターとして消防や支所等の公的機関30事業所50台、民間事業所では33事業所38台が設置されている。設置場所の周知は、AEDマップを消防局ホームページの生活安心情報に掲載している。

## 教育費

**小学校にもスクールカウンセラーの配置を**

**問 中学校全校にスクールカウンセラーが配置されたが、小学校**

**にも配置する考えは、また、学校**

**教育相談業務の内容を伺う。**

答 小学校へのスクールカウンセラー配置は、すでに、スクールカウンセラーアシスタント、子どもと親の相談員、ともに先行的な研究を進めている。文部科学省でも計画があるように、県での動向を注視しながら、準備を進めていきたい。

学校教育相談事業の対象は、市内の児童・生徒、保護者、教職員である。相談員は、学校経験者が2名、心理士の大学院卒業者が2名で、相談者からの依頼により、教育研究所が受理し、ふれあい22による分室で相談業務を進めている。平成18年度の相談件数は、322件で、2123回実施されている。内訳は、就学相談が172件、不登校相談が99件、養育相談が51件であった。

## 特別会計

**今後の下水道整備の予定は**

**問 五香西地区の具体的な下水道整備の予定は**

**答 千葉県は現在、県全体の下水道計画の見直しを行っており、そのスケジュールは、平成19、20年度で計画を見直し、21年度に事業認可の変更を予定している。**

したがって本市下水道の事業認可可も21年度に変更し、五香西地区水幹線は、22年度に整備を予定している。

また、この地区の面的整備については幹線の進捗よくと整備を図り、下流より順次進める計画としている。

## 企業会計

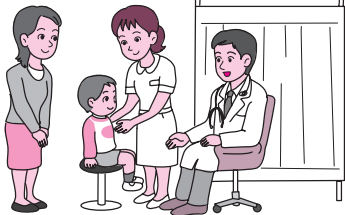
**病院事業**

**医師不足の解消策の取組は**

**問 医師不足が大きな問題になっているが、平成18年度の市立病院における解消策はどのような取り組まれたのか。**

答 16年度から新たな研修医制度ができたことで、医師不足が特に公立病院で顕著になってきている。その原因は大学の医局に依存してきたことで、その大学の余力がなくなり、医師が不足した場合、円滑にすべく補充が出来ない状況である。18年度末の医師数は99人で、定数に対しての不足という状況である。この解決策として、これまで限られた特定の大学に依存してきた縁があり、今後はその他の大学に派遣要請を行うしていく。

また、有料職業紹介制度を利用し、欠員となった診療科の医師の補充を行うなどの努力をしており、八方手を尽くす中で医師確保に努めている。





# 平成18年度 決算討論

平成18年度決算についての討論が  
定例会最終日に行われました。

## 日本共産党

**一般会計 国民健康保険、競輪、公設地方卸売市場事業、老人保健事業及び介護保険特別事業に反対、下水道事業、駐車場事業、水道事業及び病院事業会計は賛成する。**

平成18年度は定率減税全廃等の庶民大増税、医療制度などの社会保障改善、三位一体改革による地方財政の圧迫などが行われ、国民生活のあらゆる分野にわたるそのしわ寄せが生じた。こうしたなか、市民の命と暮らしを守る責任を本市政にどこまで果たせるかという視点で決算の審査に臨んだ。

一般会計では、児童手当の引き上げ、こころの相談業務、小児医療センターの開設、不法投棄のバトルの取組、緊急一時宿泊施設提供、鉄道のエンター設置、求人・求職対策ではインターネット上の求人情報の提供、消費生活相談業務では悪質商法などの相談業務など市民の切実な願いに応えたこれらの事業は評価する。これまでも「市民サービス」は従来の縮小・廃止で、母子家庭を支援する母子推進員の廃止、生活保護の老齢加算・母子加算が縮小・廃止され、それに代わる支援がなくなり生活困窮者は、ますます苦しくなるばかりである。また、区画整理事業への公金投入や小中学校改築等が予定されるなど、市民の命と暮らしに関わるものが先送りされることは大問題であると指摘し、一般会計決算は反対する。

国民健康保険特別会計では、保険料の減免制度、一部自己負担減額制度の実施、ジェネリック薬品の採用拡大による医療費抑制など提案しており、市として負担軽減と制度の充実に取り組むよう求める。

衛生費では、新たに夜間小児急病センターがスタートし、子育て世代をはじめ内外からの評価も高く、引き続き小児医療の充実をお願いする。

土木費では、排水路盤整備、街区公園の整備、街路事業、河川改修事業など、都市基盤整備について所期の目的を達成され

## 市民クラブ 松政クラブ

市民クラブ・松政クラブを代表して、全会計決算10件について賛成する。

歳入決算額は、約114.1億700万円、歳出決算額は、約108.6億8800万円となっており、翌年度に繰り越すべき財源を除いた実収支額は、約51億8400万円となり、実質半年度収支額は、約6300万円の黒字となった。これは歳入確保及び歳出の削減・合理化に積極的に取り組んだ結果であり大に評価する。

平成18年度松江市一般会計歳入歳出決算について賛成する。18年度決算審査においては、財政改革を遂行するなかで、市民の多くの要望を聞きながら有効性、平等性の観点から慎重かつ公正に臨んだ。

歳入では、市税収納率が16年度から上がってきている。休日の夜間の電話催告、訪問指導等の徴収努力の結果と評価する。

歳入決算総額は114.1億6700万円であり、前年度比1.4%増となっている。市税の収納状況は毎年上昇しており、職員の評価を評価する。

一般会計決算から病院事業会計決算まで10件について賛成する。生活者の視点から、計画された施策が目的に達しているかなどについて質疑を行った。

## まつど民主

一般会計決算から病院事業会計決算まで10件について賛成する。生活者の視点から、計画された施策が目的に達しているかなどについて質疑を行った。



## 新社民党

一般会計決算については賛成する。また、介護保険特別会計には反対するが、その他の特別会計及び企業会計については賛成する。

一般会計決算総額は114.1億6700万円であり、前年度比1.4%増となっている。市税の収納状況は毎年上昇しており、職員の評価を評価する。



## 公明党

平成18年度松江市一般会計歳入歳出決算について賛成する。18年度決算審査においては、財政改革を遂行するなかで、市民の多くの要望を聞きながら有効性、平等性の観点から慎重かつ公正に臨んだ。

歳入では、市税収納率が16年度から上がってきている。休日の夜間の電話催告、訪問指導等の徴収努力の結果と評価する。

歳入決算総額は114.1億6700万円であり、前年度比1.4%増となっている。市税の収納状況は毎年上昇しており、職員の評価を評価する。

介護保険特別会計は「保険あつて介護なし」の介護保険が18年度の見直しにより、さらに深刻な状況に陥っていることは見過ごせない問題である。

次期特別会計として国民健康保険会計では、保険料の収入未済額及び不納欠損額がともに前年より増加しているが、今後の収納率向上に向けての取組をお願いする。

下水道会計では、普及率が前年度より1ポイント上昇し、76.5%となり、着実な整備が進められ評価する。

なお、その他の会計については適切な運営がなされ、所期の目的を達成しているものと思われ賛成する。

一般会計歳入については、約114.1億7000万円、歳入決算額は、約108.6億8800万円となっており、翌年度に繰り越すべき財源を除いた実収支額は、約51億8400万円となり、実質半年度収支額は、約6300万円の黒字となった。これは歳入確保及び歳出の削減・合理化に積極的に取り組んだ結果であり大に評価する。

策定にあたり、実効性・具体性のある計画とするよう要望する。衛生費では、早期治療の意識づけや50歳検診の無料化を要望する。



# 常任委員会の審査から

9月13・14日及び18・19日に各常任委員会が開催され、今定例会に提出された議案及び陳情が審査されました。ここでは、その審査の中での質疑・答弁（要点）の一部を掲載します。（議案の内容については、1面に掲載してあります。）

## 総務財務

### 常任委員会

議案第14号  
平成19年度松戸市一般会計補正予算（第2回）  
主な質疑

問 自治体単独の乳幼児医療費助成を実施する国からのペナルティとして、国民健康保険国庫負担金が減額調整されると聞くが、その現状は、

答 本市も以前から全国市長会を通じ、ペナルティを課すことのないよう国へお願いしていることである。国庫負担金の減額調整は、自治体が行う乳幼児医療費助成制度が償還方式ではなく、窓口負担を軽減した現物給付に限り実施される。自治体により制度が異なるため、現物給付を行っている自治体と行っていない自治体では、公平性に欠けることや現物給付によるその自治体の乳幼児医療費が増えることなどの理由から、その分についてペナルティを課すというところである。本市への国庫負担金の減額調整は、平成15年度より4年間行われており、18年度は約5千万円である。

## 健康福祉

### 常任委員会



議案第15号  
平成19年度松戸市介護保険特別会計補正予算（第1回）  
主な質疑

問 コムスの不正請求問題で、その後明らかになったと、また新たな事業者への引継ぎは、

答 千葉県が7月24日付けでコムスの県内6事業所に対し、基準を遵守するよう改善勧告を出したところである。また、県内の全事業所に対し、自主的に保険請求を点検するよう指導があった。これらに対し10月末段階で、コムスより千葉県に6事業所の改善報告と自主的点検による介護報酬の返還の報告が提出されたところである。本市においても現在介

## 教育経済

### 常任委員会

議案第22号  
契約の締結について（松戸市立小

中学校第1校舎改築工事）  
主な質疑

問 設計にあたり、教師や子どもたち、地域の高層は除かれたか、

答 設計については、30年以上にわたり本市で学校を造ってきた経験を生かし、教育委員会主導で行った。特徴としては、コンビニエータ室を従来の2倍となる2教室分の広さとした。また、従前最上階に設置していた図書室を1階にするなど、多目的教室を設置することができ、これまでの中学校にはない設計とした。

問 本市では「もったいない運動」を展開しているが、机や椅子などの備品類は、すべて新しいものを購入するのか、

答 「もったいない」の精神に基づき、新松戸北中学校で使用していた備品や小金中学校でも使用しているものをすでに保管しており、生かして購入する必要があるものも新規に購入する必要があるものもあると思うので、精査しながら活用できるものは、できる限り活用していく考えである。

問 図書室が、現在の1.5倍の広さになるが、蔵書数は増えるのか、

答 小金中学校の図書は同校の学校場に保管しており、新松戸北中学校の図書と合せてと物理的には増えるが、学校の図書には廃棄したら二度と手に入らない貴重なものがあり、必要ならは保存していくから子どもたちが活用しにくい図書で使用に耐えないものは処分する。また、新たに必要なものや地域の方が活用するものは購入するなど整理を行うので、若干増えるものと考えている。

問 小金中学校は、本市のモデル校になるべくしてあるが、防災の観点からまた点検はあるか、

答 中庭を囲んでくると回れる構造であり、2方向への避難が可能となった。また、中庭を避難場所として活用することもできる

## 都市整備

### 常任委員会



議案第23号  
契約の締結について（春木川排水整備工事）  
主な質疑

問 大雨の時に河川の水位が上がり、住宅地の側溝から雨水が溢れ出し、浸水被害となる。今回の整備工事によりどのような被害は解消されるのか、

答 今回、整備工事を行う春木川沿いは、現在、多少の雨でも河川の水位がすぐに上がるため、雨水が周辺道路の排水路から川に流れ込めない状況となっている。しかしこの工事により、現行毎秒7トンの流下能力が35トンとなることで、通常の雨が降った場合でも水位が急に上昇しなくなるため、周辺の路面排水は、かなりスムーズになるものと判断している。

## 会議録検索システムがリニューアル

検索システムの画面がリニューアルし、機能もより充実しました。また、これまでの本会議の会議録に加え、予算・決算審査特別委員会と各常任委員会（総務財務・健康福祉・教育経済・都市整備）の会議録が追加されました。追加される会議録については、平成19年3月定例会以降のもの、インターネットでご覧いただけますので、松戸市のホームページからアクセスしてください。



## 意見書提出

地方自治法第99条の規定により国及び関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

中小企業の事業承継円滑化のための税制改正を求める意見書  
障がい者福祉制度の充実に関する意見書  
乳幼児医療費助成制度の創設等を求める意見書  
都市再生機構住宅（公団住宅）居住者の居住の安定に関する意見書

割賦販売法の抜本的改正に関する意見書  
東京湾アクアライン通行料金

## 人事案件

の更なる大膽な値下げによる社会実験の実現を求める意見書

- 公平委員会委員の一人、教育委員会委員の一人、固定資産評価審査委員会委員の一人の任期満了に備え、それぞれの方の選任及び任命に同意しました。（敬称略）
- 公平委員会委員 南雲 祥子
- 教育委員会委員 関 英昭
- 固定資産評価審査委員会委員 吉田 衆司



整備工事が始まる春木川

9月定例会 審議結果					
番号	件名	本会議の結果	番号	件名	本会議の結果
認定	平成18年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	議員提出議案		
第1号	平成18年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	第7号	年金への信頼回復にむけた取組の強化及び年金制度の改善を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第2号	平成18年度松戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	第8号	消費税増税中止を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第3号	平成18年度松戸市松戸競輪特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	第9号	「憲法改正案」を審査・提出する「憲法審査会」創設中止を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第4号	平成18年度松戸市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致	第10号	母子世帯の命綱、児童扶養手当の減額措置実施の中止を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第5号	平成18年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	第11号	中小企業の事業承継円滑化のための税制改正を求める意見書の提出について	可決 多数意見
第6号	平成18年度松戸市老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	第12号	障がい者福祉制度の充実に関する意見書の提出について	可決 多数意見
第7号	平成18年度松戸市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致	第13号	乳幼児医療費助成制度の創設等を求める意見書の提出について	可決 多数意見
第8号	平成18年度松戸市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	第14号	都市再生機構住宅（公団住宅）居住者の居住の安定に関する意見書の提出について	可決 全会一致
第9号	平成18年度松戸市水道事業決算の認定について	認定 全会一致	第15号	割賦販売法の抜本的改正に関する意見書の提出について	可決 全会一致
第10号	平成18年度松戸市病院事業決算の認定について	認定 多数意見	第16号	東京湾アクアライン通行料金の更なる大幅な値下げによる社会実験の実現を求める意見書の提出について	可決 全会一致
市長提出議案			平成19年度陳情		
第14号	平成19年度松戸市一般会計補正予算（第2回）	可決 多数意見	第20号	悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情	採択 全会一致
第15号	平成19年度松戸市介護保険特別会計補正予算（第1回）	可決 多数意見	第21号	東京湾アクアラインでの本年度中にもう一段の大幅な値下げによる社会実験を行う事を要請する陳情	採択 全会一致
第16号	政治倫理の確立のための松戸市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第22号	公団住宅住居者の居住の安定確保のための意見書採択を求める陳情	取下げ
第17号	松戸市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	可決 多数意見	第23号	「安全で快適なまちづくり条例」について公共の場所・路上喫煙全面禁止とするよう条例改定願	不採択 多数意見
第18号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について（戸籍手数料関係）	可決 全会一致	第24号	後期高齢者医療制度を抜本的に見直すよう国への意見書採択を求める陳情	不採択 多数意見
第19号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について（建築確認申請等手数料関係）	可決 全会一致	第25号	妊産婦健康診査の無料受診回数を増やすことを求める陳情	継続審査
第20号	松戸市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第26号	松戸市内のすべての子ども達にゆきとどいた保育を求める陳情	不採択 多数意見
第21号	松戸市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第27号	パトリオットミサイルの習志野基地への配備に関する陳情	不採択 多数意見
第22号	契約の締結について（松戸市立小金中学校第1校舎改築工事）	同意 多数意見			
第23号	契約の締結について（春木川排水整備工事）	同意 全会一致			
第24号	公平委員会委員の選任について	同意 全会一致			
第25号	教育委員会委員の任命について	同意 全会一致			
第26号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 全会一致			

**声の議会だよりをご利用ください。**  
 松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読者会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音テープを希望者に貸し出してあります。詳しくは、左記までご連絡ください。  
 松戸市障害者福祉センター（ふれあい22内）  
 住所 松戸市五番3-7-1 TEL 3833-7111



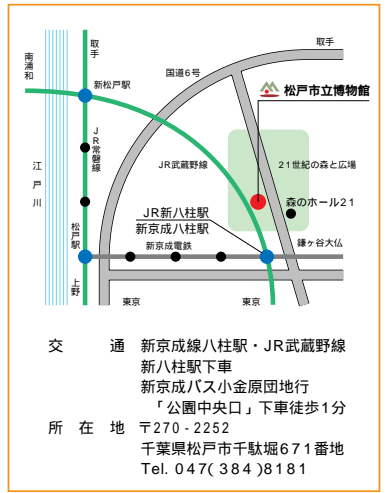
**本会議のインターネット放映**

本会議の様子は、松戸市のホームページからご覧いただけます。  
 インターネット放映 アクセス件数73,157件  
 （平成17年6月開設から19年9月末まで）

**12月定例会の開催予定について**  
 平成19年松戸市議会12月定例会は、12月5日（水）から20日（木）まで開催される予定です。請願・陳情は11月26日（月）正午までに提出してください。予備日に一般質問を行う場合があります。

期日	主な内容
5日（水）	招集日本会議議案説明
6日（木）	日本会議 一般質問
7日（金）	
10日（月）	
11日（火）	
12日（水）	予備日
13日（木）	常任委員会 議案等審査
14日（金）	
17日（月）	
18日（火）	本会議 議案等の議決
20日（木）	本会議 議案等の議決

問い合わせ先 市議会事務局  
 (366) 7382



次回の発行予定は  
 1月27日（日）です。



今年の夏は暑かった。東京電力は猛暑により過去最高の発電量を記録したことを発表し、大型台風による集中豪雨に見舞われた地域は大変な被害にあり、自然の脅威を実感した夏であり、地球温暖化が身に迫ってきていると感じられました。また、暑い夏に、参議院選挙があり、終われば、安倍総理が突然辞任と、政治も環境も変化の流れの速さを感じます。進化論を唱えたダーウィンは、「この世に生き残るものは、最も強いものでもなく、最も知性の高いものでもなく、最も変化に対応できるものである」と言っています。このフレーズは首相演説に使われ、色々議論されておりますが、ともあれ、厳しい財政事情のなか、乳幼児医療費助成拡大など皆様の為の議会活動に取り組んでまいりたいと思います。

**編集の窓**  
 今年の夏は暑かった。東京電力は猛暑により過去最高の発電量を記録したことを発表し、大型台風による集中豪雨に見舞われた地域は大変な被害にあり、自然の脅威を実感した夏であり、地球温暖化が身に迫ってきていると感じられました。また、暑い夏に、参議院選挙があり、終われば、安倍総理が突然辞任と、政治も環境も変化の流れの速さを感じます。進化論を唱えたダーウィンは、「この世に生き残るものは、最も強いものでもなく、最も知性の高いものでもなく、最も変化に対応できるものである」と言っています。このフレーズは首相演説に使われ、色々議論されておりますが、ともあれ、厳しい財政事情のなか、乳幼児医療費助成拡大など皆様の為の議会活動に取り組んでまいりたいと思います。